



現在、多くの企業はハードウェア開発のデジタル変革に直面しており、テクノロジーがエンジニアリングチームに迅速で柔軟な仕事のやり方を必要としています。



SAFe for Hardware認定コースは、2日間にわたる包括的なコースで、SAFeの原則をハードウェア開発にスムーズに統合し、迅速なデリバリーと複雑な大規模システム構築の中で柔軟性を保つことを目的としています。

SAFe for Hardwareで提供されるもの

- 充実した2日間の講師の指導による実践的なトレーニング
- コースの40%は、理論を実践するための協働的なハンズオン演習
- 受講者がリーンアジャイル原則を実際のハードウェアの課題に適用できるグループ演習
- 学んだ内容と理解を確認できる認定試験。(追加料金なしで再受験可能)

必須項目をすべて完了した方には、SAFe® 6 for Hardware (SHWA)の認定とデジタルバッジが提供されます。

対象者

- ハードウェアソリューションのデリバリーを担当するシステムエンジニア、プロダクトマネージャー、およびプログラママネージャー
- リーンアジャイルプラクティスの導入を検討しているエンジニアリングリーダーとマネージャー
- 現業務にリーンアジャイルアプローチの適用を考えているエンジニア（機械、電気など）

重要なベネフィット



市場投入への加速

開発のサイクルとフィードバックループを迅速化することで、ハードウェア製品におけるイノベーションとバリューを向上させます。



強化された柔軟性

市場や組織のニーズに迅速に対応するための適応型システムを構築できるようになります。



コラボレーションの向上

チームやサプライヤー間のコミュニケーションを強化し、円滑なプロジェクト遂行と整合性を確保することができます。



初期リスクの軽減

継続的なフィードバックと早期のリスク検出を通じて、リスクを積極的に管理することが可能になります。



適切で効果的なコンテンツ

ハードウェアソリューションに特有の課題に対処するために、SAFeプラクティスを深化し、最新のアプローチを学びます。



厳選された実践トレーニング

深い知識の共有を目的として、実用的なスキルと応用に焦点を当てています。